

芸術監督だより

上海クァルテット ~このハンサムな青年たち~

1996年、彼らが日本上陸しての初公演は大阪のザ・フェニックスホールでした。その時担当だった私ですから、彼らの発展ぶりを18年余り見つめてきたことになります。今回結成30周年記念の日本ツアーとなっていますが、1983年、リ兄弟を中心に上海音楽院で結成。85年ポーツマス(現ロンドン)国際弦楽四重奏コンクールで第2位。審査員だったメニューインに絶賛され渡米。87年シカゴ新人コンペティションで優勝し、NYデビューを果たし本格的に演奏活動を開始して現在にいたっています。その活動と進展は目覚ましく、近年、ニューヨーク・タイムズ紙では、「現存する弦楽四重奏団で上海クアルテットより美しい音を奏でるグループを問われても、名前がすぐに思い浮かばない」と絶賛されています。

今回、上海クアルテットに、一世を風靡した東京クアルテットのオリジナル・メンバーだった原田禎夫さんを加えての、



上海クアルテット大村公演での長崎散策 (2006年グラバー園)

シューベルトの五重奏曲は聴き逃せません。それに、わがOMURA室内合奏団のイケメン4人が、メンデルスゾーンの弦楽八重奏曲でチャレンジします。さらに、この夏、松原勝也さんから特訓を受けたジュニアオーケストラの数名が、プレ・コンサートで3種類の四重奏曲をご披露します。これほどヴァラエティーに富んだ室内楽のコンサートは、初めてで最後かもしれません。ぜひぜひ聴いてください。

結成30周年記念コンサートに寄せて、つい最近行われた上海クアルテットのインタビューの一部をご紹介しましょう。

「30年というのは人生の大半を占めるとても長い時間です。上海クアルテットはこれまでに20カ国以上で2500公演を超える演奏会をしてきました。

30枚のCDアルバムもリリースし、様々な作曲家から30曲の新曲を依嘱されています。クアルテットは常に高いレベルの完全無欠な音楽を目指して努力しています。」

「今回のツアーで原田禎夫さんと共に演奏することは、非常に満ち足りた気分です。彼は素晴らしいチェロ奏者というだけでなく、美しいベースライン上で、常に正しいバランスを保ち、完璧な色彩を組み合わせることで知られているクアルテット奏者です」

皆様のご来場、心よりお待ちいたしております。

村嶋 寿深子

お待ちかね。『フィガロ』です。

長崎新人演奏会は今年40周年。それを記念しての「OMURA室内合奏団&輝ける星たち」<10月13日(土)>に登場する6人のソリストの皆さんに抱負を語っていただきました。



大石 洋史 《伯爵》

Earl

今回、地元を基に素晴らしい活動を続けるOMURA室内合奏団の方々と共に、再度演奏できることを心から嬉しく思います。指揮の橋本さんをはじめ、出演者の皆様と共に精一杯いい演奏をさせていただきたいと思います。



松本 佳代子 《伯爵夫人》

Contessa

モーツアルトにかかれば、階級社会への批判さえも宝石の如く輝きの世界で問いかける「フィガロの結婚」。OMURA室内合奏団の美しい音色に支えられ、伯爵夫人の静かな中にも気品ある調べをお届けできたら、と思います。



原 さとみ 《スザンナ》

Susanna

「フィガロの結婚」は、いろいろな伏線が仕掛けられていて、何度も歌っても観ても、新しい発見に驚かされる奥深いオペラです。モーツアルトマジックに操られながら、皆さん方と共に演できることを幸せに思います。



横山 浩平 《フィガロ》

Figaro

大好きなモーツアルトのオペラを OMURA 室内合奏団の皆さんと共に演させていただける事となり、大変嬉しく光栄に思っています。いつも伯爵ばかり歌っていますが、初挑戦のフィガロを自分なりに精一杯歌いたいと思います！



丸尾 有香 《ケルビーノ》

Cherubino

故郷長崎での公演、とっても楽しみにしています！長崎でたくさん美味しいものを食べて、素敵なお魅力が溢れるケルビーノを目指して頑張ります☆ 皆様の印象に残る、素晴らしい公演になりますように！



村岡 恵理子 《バルバリーナ》

Barbarina

今回大好きなモーツアルトを地元大村で歌えます事、大変嬉しく、そして楽しみにしております。ソロやアンサンブルが魅力的な作品です。会場でお待ちしております。

「城下町大村秋の音楽祭」へのお誘い

9月15日(土) 晴天に恵まれ、演奏いたしましたオープニングコンサート。地元の合唱団のみなさまとの合奏はとても素晴らしい演奏でした。ただいま10月27日までの期間で開催しております、城下町大村秋の音楽祭。団員として、また大村市在住の音楽家としてもこの音楽祭に参加している坂口直子さんがみなさまにご案内します。



● 坂口直子／クラリネット

この秋、さくらホールをはじめ大村市内20か所では、一流アーティストや地域の音楽愛好家によるコンサート28公演があります。それも、多くが無料で楽しめるものです。

このようなコンサートは、県内でもめずらしく、私たち合奏団もホールだけでなく公民館・病院・お寺など街の皆さんのがんばりで素敵な音楽をお届けします。

演奏の合間のメンバーのトークでは、音楽の豆知識やまだ知らないコンサートの裏話が聞くことができます。また、目の前の楽器から伝わる音の振動を感じながら聴いてくださる赤ちゃんやお子様を連れたママも、合奏団のファンが多くいらっしゃいます。

このような機会に、まだ合奏団の演奏を聴かれたことないご近所さんご友人を誘って、秋のひとときを過ごしてみてはいかがでしょう。会場でお待ちしています。



9月15日オープニングコンサートでの迫力の大合唱。
素敵な歌声がシーハットに響き渡りました。

OMURA Chamber Ensemble Report

8月末に開催しました シーハット・ミュージック・フェスタ2012のレポート。



● 川口千穂／ヴァイオリン

今年も夏休み最後の8/22~25に、シーハット・ミュージック・フェスタが開催されました。今回の内容は盛り沢山で、OMURA室内合奏団メンバーによる「ヴァイオリンはじめて教室」、「亀子先生のコントラバスセミナー」他、ロビーでは、大村の中高生たちによる木管楽器のコンサートもありました。特に今年は、初めての試みで、ジュニアオーケストラの選抜メンバーによる室内楽マスタークラスがありました。毎日の松原先生の熱いご指導の成果で、最終日のファイナル・ガラコンサートでは、いきいきと演奏する子どもたちの姿が見られました。

コンサートの最後は、約30名のジュニアオーケストラのみなさんによる弦楽合奏もあり、おそろいのハットくんのついた青のTシャツを着て、若さ溢れる演奏でしめくくりました。

私はというと、チームセリオーソの弦楽四重奏曲団に所属して、



OMURAで初のヴァイオラを演奏された松原先生の横で、多くを学ばせていただき、至福の時を過ごすことができました。ジュニアのみなさん、来年もシーハットでまた会いましょうね！



室内楽マスタークラスの様子。松原さんの熱心な指導が行われました。



第9回

団員リレートーク

コントラバス編



亀子政孝（コントラバス）

いつも合奏団を応援いただきありがとうございます。今回は最も大きくて低い音の出る弦楽器「コントラバス」の紹介です。

コントラバス（通称コンバス）はドイツ語です。米語ではコントラベース、英語ではダブルベース、吹奏楽ではストリングベースと言ったりしますが、全部同じ楽器です。イギリスに住んでいる頃、ベースの発音が通じなかったのは悲しかったです。自分の楽器なのに…。正しい発音は「ベース」のほうが近いです。

コンバスはなんといつても存在感がありますよね。オーケストラはコンサートマスターや指揮者がリードしているように見えますが、合奏団の演奏を見ていただければ分かりますね、影の支配者はコンバスです（団員がそう思っているかは分かりません）。

意外と知られていませんがヴァイオリンと同じように子供用の小さい楽器もあります。それでもチェロより大きいですが。コントラバスを弾きたくなったあなた、子供に弾かせたくなったあなた。いつでも亀子の門を叩いてください。



新シリーズ

パトロネージュ 交流プラザ

会員の皆さまのいろんな声をお届けする新シリーズが始まりました。

『フレー・フレー・村嶋館長!!』

パトロネージュ倶楽部会員となりOMURA室内合奏団の演奏を聴く機会に恵まれ、生で聴く楽器の音色の美しさに感動させられています。CDで聴く有名な楽団の音色よりも、生の楽器の醸し出す味わいに勝るものはありません。室内合奏団が結成され、クラシック音楽を身近に楽しむことができ喜んでいますし、幕間での村嶋館長の洗練されたトークもとても楽しみにしています。

つい先日ですが、私にも介護保険証が送付されました。これからはあまり無理せず、何事も控えめに生きていかなければと肝に銘じたところでした。

中澤 和嘉
((医)檜山会 中澤病院長)

ところが『村嶋寿深子とその時代』(江口満著)によると、67歳でシーハット館長に就任し、翌年には室内合奏団の第1回定期演奏会を開催された活動力には驚きました。これまで培ってられた、音楽家としての技術・多岐にわたる人脈を生かし、室内合奏団に注ぐエネルギーには敬服しています。スーパー・ウーマン村嶋館長を見習い、もう少し頑張らなければと思いました。

室内合奏団の皆さん、これからも村嶋館長を支えて頑張ってください。私たちパトロンも心から応援しています。

OMURA室内合奏団団員への質問、
音楽や楽器の気になる疑問!! など、
ご感想やご意見、ご質問を募集しております。

宛 先 〒856-0836 大村市幸町25-33
シーハットおおむら内「パトロネージュ通信」係
メール omurapatron@gmail.com

編集後記

◎秋はわたしの大好きな季節♪木々の色合いもキレイだし、食べ物も美味しいし…今年の秋はどこかに秋の景色を見に行きたいです(●'▽'●)♪
(編集長 いけっち)

◎今年も城下町大村秋の音楽祭が始まりました。大村市内のあちこちで音楽が流れています。秋の景色といえば、田んぼに咲く彼岸花が大好きです。それから昨年ドライブした黒木地区の紅葉、きれいだったな…今年も行こうっと。みなさまも大村の秋の景色と音を愛でにいらっしゃいませ~。
(事務局)

OMURA室内合奏団の最新情報♪ <http://ocenagasaki.blog25.fc2.com/>